



超細径高密度光ファイバケーブル

Ultra High Density Optical Fiber Cable

1. 概要

近年インターネットの普及に伴い、光ファイバを一般家庭に直接引き込んで高速通信サービスを実現するFTTH (Fiber To The Home) の需要が拡大しており、光ファイバケーブル配線網を経済的に構築することが求められている。効率的、経済的に光ファイバケーブル配線網を構築するためには、敷設作業時の牽引力や電柱への荷重負担を軽減することや、追加敷設の際に空きスペースが不足していても敷設できることが求められ、軽量化、細径化および高密度化の要求が高まっている。

当社では、隣接する単心光ファイバ心線が長手方向に間欠的に連結された間欠接着型光ファイバテープ心線を用いた、細径化・軽量化した光ケーブルを開発・製品化した。

2. 用途

FTTH 配線での使用。(図1)

- ・引上げケーブル
- ・架空ケーブル

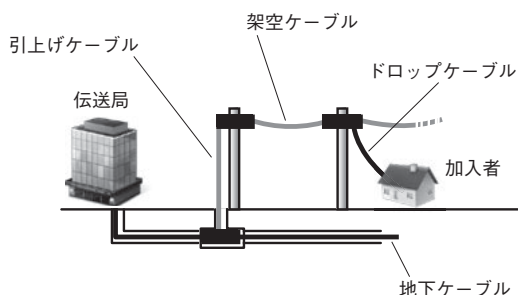


図1 FTTH 配線例

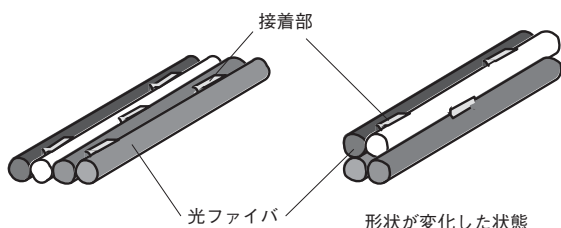


図2 間欠接着型光ファイバテープ心線の構造

3. 特長

- (1) 間欠接着型光ファイバテープ心線 (図2)
 - ・隣接する単心光ファイバ心線が長手方向に間欠的に連結されており、単心部と接着部が周期的に配置された構造
 - ・光ケーブル内で周囲の形状に応じて自由に形を変えることができ、高密度に実装することが可能
 - ・光ケーブルから取り出した際、心線がテープ形状になり、4心一括融着接続が可能
 - ・接着部を取り除くことにより、容易に単心分離が可能
- (2) 超細径高密度光ファイバケーブル
 - ・スロットを使用しないため、細径化、軽量化が実現 (200心丸型ケーブルの場合、当社従来品と比較し、ケーブル外径で約40%、質量で約60%の細径化、軽量化)
 - ・光ファイバ心数は24, 40, 60, 100, 200心
 - ・ケーブル構造は、丸型、自己支持型をラインアップ (図3)

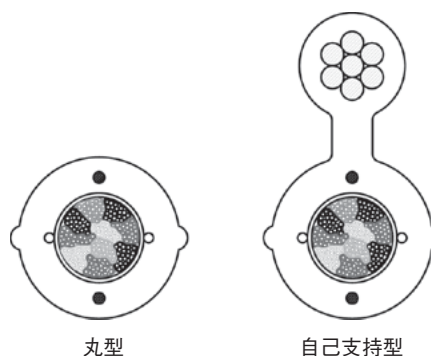


図3 ケーブル断面形状

問合せ先: 〒105-6012 東京都港区虎ノ門4-3-1(城山トラストタワー)
 昭和電線ケーブルシステム(株)
 通信システム営業部 通信営業グループ
 電話(03)5404-6965 FAX(03)3436-2573